

おち町

No.111

2015 (H27) 2/1
高知県越知町議会

越 議会だより OCHI TOWN 会 館



晴れて大人の仲間入り

12月定例会 (会期12/12~12/16の5日間)

- 2P フォレストタウンおちの申込112世帯
- 4P ぼんぼり桜まつりなど補正予算で議論
7人が一般質問
- 6P 移住、定住、子育て支援などを問う
- 14P 行政視察研修報告

議会です
みんなには

連載：移住者訪問 ②

議会だよりでは、移住を希望されている人に役立つことを願い、前号から町外からの移住者（I・Uターン）の取材記事を連載しております。



みんな田舎に
住んだらいい
福原 袈裟和さん
け さ か ず
けい 恵さん
桐見川2区 (西浦)

今回は、桐見川2区に移住された福原さんご夫婦を訪問しました。
袈裟和さんは、中学校卒業後兵庫県で就職し、バスの運転手を最後に定年退職し、平成25年3月、ふるさとに帰って来られたそうです。
現在は、自家野菜づくりとシルバークの運転手、妻の恵さんは須崎市に仕事に行っており、おられます。

強い母の思い
病気のため一緒に暮らしていた母親が、「田舎」に帰りたいたいの強い思いに、恵さんの心も動かされ越知町に帰ることになったそうです。
頼られる存在に
恵さんは、帰った当時は地区のきまりごとや近所付き合いが心配だったそうですが、袈裟和さんがけがをしたことで、水道掃除や道づくりなどに参加するようになり、少しずつ慣れたと言います。
地区では若い方であり、今では頼られる存在となり、一年前から消防団にも入ったと笑顔で話してくれました。

議会を傍聴しませんか
12月定例会の傍聴者は延べ7人でした。次の定例会は3月12日開会の予定です。大勢の傍聴をお待ちしています。



今回の取材の様子

みんな田舎に住んだらいい
高知の人は元氣だ。食べ物がおいしい。景色は最高、夜空の星・空気がきれいなので風邪をひいたこともない。
自然豊かな田舎が最高です。みんな田舎に住んだらいいのと恵さん。
袈裟和さんは、同級生などが近くに帰って来てくれることを強く望んでおられました。

編集後記
昨年11月に人口減対策の取り組みで定住・子育てをテーマにした視察研修に島根県飯南町と邑南町に行ってきた。さすがに先進町は予想以上であり、一つ一つの説明に各議員は聞き耳を立て、終了後に質問攻めとなった。
研修後に全議員から出た言葉は「目からうろこが落ちたよ」うだ、越知町をなんとかせんと「いかん」という結論になった。
そのためか12月議会では、10人中の7人が登壇し、うち6人が人口減に関する質問をした。議員の意識が変わってきたのがよく分かる。住民のみならず、議員の本気を見ていただきたい。

編集・発行責任者	議長 齋藤 政広
議会広報常任委員会	委員長 武智 龍
	副委員長 高橋 文一
	委員 岡林 静学
	委員 市原 静子
	委員 小田 範博

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。

町営住宅 フォレストタウンおち入居申込

町内54世帯113人 町外58世帯122人

(最終申込数)

Contents No.111 Feb 2015

- 議案質疑
- 04 ぼんぼり桜まつりなど
補正予算で議論
- 05 こんなことが決まったぜよ
地域公共交通会議を設置
- 一般質問
- 06 移住・定住・子育て支援
など7人が問う
- 行政視察報告
- 14 いいなん おおなん
島根県飯南町・邑南町
- 16 議会ですこんにちは
連載：移住者訪問②

一般会計補正4839万円

12月定例会は、12日から16日までの5日間開き、平成26年度各会計補正予算、条例の一部改正など18件を可決、専決処分2件を承認、人事案件1件を同意しました。
また、一般質問【6面から】は7人が登壇し、移住促進・定住対策、子育て支援など町政課題について執行部をただしました。

平成26年度12月補正予算			
会計名	補正額	総額	賛否
一般会計	4839万円	48億8614万円	賛成全員
簡易水道会計	△10万円	1億5105万円	賛成全員
水道会計	10万円	5158万円	賛成全員
下水道特別会計	13万円	1億6275万円	賛成全員
国民健康保険特別会計	4192万円	9億306万円	賛成全員
介護保険特別会計	217万円	10億9678万円	賛成全員
自然の森博物館特別会計	△448万円	2443万円	賛成全員

移住定住策の切り札、建設が進むフォレストタウンおち

ほんぼり桜まつり

小田 観光協会補助金32万7000円の目的内容は、中内企画課長 ほんぼり桜まつりに対する補助金で、今年初めて開催したが、継続したいとの要望があり2分の1を補助するもの。



ほんぼり桜まつり

採算性は 観光は、外貨を稼ぐという概念がある。行政が関わるイベントは、ほとんどが赤字だが採算性はチェックしているか。

外貨を稼ぎたい

中内企画課長 次回は、イベント内容を魅力あるものにし、町外からのお客様にも来てもらうよう指導したい。大きい額ではないが、外貨を稼げるようになると思う。

武智 本来は、観光協会が他の業者に利益を還元させる仕組みを作っていく、それを指導するのが行政ではないか。

中内企画課長 業者が育つのが一番だと思う。

町民バス買い替えに600万円

安心して乗降を

市原 新しく購入するバスは、安心して乗降できるように考えているか。

乗降は比較的楽に

片岡総務課長 必要装備として補助低床ステップ付きにしており、乗降は比較的楽にできると思う。



町民の足になっている町民バス

中学校のPC廃棄物処理に81万円

どうして今か

岡林 前回、役場庁舎の補正があったが、どうして今補正か。

点検中に発見

高橋教育次長 11月19日に、中学校の機械室を点検中発見された。機器が処分対象であることが分かったため。

生徒に影響は

岡林 機械室は、生徒たちが出入りして、何らかの影響を受けることはなかったか。

子どもの出入りない

高橋教育次長 鍵のかかった所に置かれており、子どもたちが出入りする場所ではない。



避難訓練にも活用されるおさんぽカー

避難用おさんぽカーに48万円

市原 災害時避難用おさんぽカーとは、どういうものか。

1・2歳児が利用

高橋教育次長 保幼小中の避難訓練時に、1・2歳児を乗せて避難させるリヤカーで、保育園に2台購入する。

ゆず等の販路開拓事業35万円

武智 市場新規販路開拓事業の内容は。

販路拡大と正社員雇用 **前田産業建設課長** 非正規職員を雇用して、国内商談会に参加し、ゆずやそれらを原料とした加工品の販路の拡大、売り上げ増加と非正規職員の能力向上を図り、正社員へ転換させるもの。委託先は岡林農園。

ブロック塀耐震事業に40万円

武智 民家のブロックを直すのか。

片岡総務課長 強い地震で倒壊の危険性の高いコンクリートブロック塀の安全対策として民家に補助するもの。

条例の一部改正

地域公共交通会議を設置

非常勤職員等の報酬及び費用弁償に関する条例 公共交通検討会において、道路運送法で定められた「地域公共交通会議」の設置が必要との決定により、委員の報酬を定めるもの。

会長日額 5700円
委員日額 5200円
(賛成・全員)

地域公共交通会議

近年、過疎化・少子高齢化が進展する中で、地域のニーズに応じた多様な形態の運送サービスの普及を促進、旅客の利便を向上させるため、地域の実情に応じたバス運行の態様及び運賃・料金・事業計画等について、自治体が主宰となり、乗合バス事業者・住民・地域関係者による合意形成を図る場として、平成18年10月に改正道路法に位置づけられた。

前納報奨金廃止

税条例

固定資産税に係る全期前納報奨金を、27年度から廃止するもの。
(賛成・全員)

学童保育条例

学童保育の対象を「小学6年生まで」拡大するもの。
(賛成・全員)

国保条例

出産育児一時金「39万円」を「40万4000円」に改正するもの。
(賛成・全員)

一般職の職員の給与に関する条例

高知県に準じて、26年12月期の勤勉手当の支給割合を、再任用職員以外の職員は0・1月分、再任用職員は0・05月分を引き上げるもの。
(賛成・全員)

町道の認定

町道1路線を認定する。
(賛成・全員)

町道文徳屋敷線
延長30・3m
幅員4・0m



認定された文徳屋敷線

人事

教育委員の任命

山中弘孝氏(越知甲)
《同意・全員》



12月18日開催の教育委員会(臨時会)において、教育長に再任されました。任期は、平成30年12月23日まで。

明治地区

町民と議会の地区別懇談会のご案内

越知町議会では、町民の皆さまと議会活動や町政について、意見交換を行うため、議会報告会や地区別懇談会を開催しています。

今回は、次のおり明治地区で「地区別懇談会」を開催いたしますので、皆さまお誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願いいたします。明治地区以外の方も歓迎します。

【開催日】

2月12日(木)

【時間】

午後2時から4時

【会場】

鎌井田老人里の家

◆お問い合わせ等は議会事務局までお願いします。
TEL26・1112
FAX26・0600

こんなことが決まったぜよ

町政を問う

一般質問 7人登壇

6ページ・小田範博
入札

7ページ・西川晃

- ①介護保険事業
- ②危険な通勤、通学道
- ③人材育成
- ④宿泊施設

8ページ・市原静子

- ①子育て支援
- ②人口減対策(不妊治療)
- ③元気なまちづくり

9ページ・武智龍

- ①定住対策
- ②高校生の通学支援
- ③地域おこし協力隊
- ④災害対策

10ページ・高橋文一

- ①観光の基本姿勢
- ②行政が関係する事故等の補償
- ③移住促進・定住対策

11ページ・岡林学

- ①災害時の体制
- ②フォレストタウンおち
- ③町施設のトイレ
- ④移住
- ⑤県道柳瀬越知線

12ページ・片岡清則

- ①町長の政治姿勢
- ②町の将来展望
- ③道路行政



ごみ収集委託業務入札 自らの責任はどうか

責任を取る考えはない 町長

問 過ちはあることなので、真摯に受け止め当事者に納得のいく説明や謝罪をするべきである。
このことを正当化及び秘密にしようとする行為や考えがあったのでは。

小田町長 全くないが、一方の業者から不信感を抱いているとの申し出があり、法的な問題を含め弁護士に相談した結果、今回の入札は有効であると判断した旨を入札参加者に伝えた。

加筆を加えた行為が、不信感を与えた原因であり謝罪した。
問 弁護士に相談しなければ解決できないような様式で行う入札では、今後不信感が起こる。どのように改善するのか。

小田町長 事前の説明を徹底し、様式も見直しを行い、健全な入札ができるよう指導する。

問 その後の入札でも問題があったと聞くが、一連のトラブルは、指導力不足が招いたものである。自らの責任をどのように考えているか。

職員は嚴重注意
小田町長 職員の処分は、懲戒委員会に諮り文書で嚴重注意を行った。最高責任者としての責任はあるが、自身も反省をしながら職員を指導する。
今回の件で具体的な責任をとる考えはない。



市街地周辺以外では週1回のごみ収集がある(鎌井田複合集会所前)

問 入札に参加した業者が非常に不愉快で、いやな思いをしたと聞くがその内容は。

小田町長 落札者に提出を義務付けている内訳書の金額と入札金額が、違っていたので同額となるよう加筆を求めた。

介護保険事業

どうなる保険料

基準月額を変えない 住民課長

問 3年ごとに見直しする保険料は、四国でも2番目に高く、町民にとって関心の大きい問題であるが第6期の見込額は。

保険料に最も影響の大きい療養型など民間介護サービス事業所をこれ以上増やすのか。
また、待機者の多い特別養護老人ホームを増やすことはできないか。

西川住民課長 本町の保険料は、療養型など介護施設が多く、基準月額6235円は、県内で一番高い。
27年度からの第6期計画の策定委員会では、給付実績、要介護認定者数を分析した結果、基準月額を変えない方向で検討中である。

小田町長 本町は療養型介護施設を新たに認める考えはない。
また、安く入所できる特別養護老人ホームに対するニーズは承知しているが、今後5年から10年の高齢者人口を見た上で慎重に考えたい。

危険な通勤・通学道 県道下山越知線の交通対策

交通量も多く危険と認識
産業建設課長

問 県道下山越知線中、女川の朝日公園西のカーブは、狭くて見通しが悪く危険だが、改良できないか。

前田産業建設課長 近くには小舟団地と幼稚園があり交通量も多く、歩行者や自転車の通行に危険と認識している。
カーブの是正には用地所有者の協力が必要で、見通しがつけば県に要望する。



狭くて危険なカーブ

外灯の設置を

問 幼稚園から小舟団地までの間は夜間大変暗く危険だが、外灯を増やせないか。

県と協議
小田町長 大変暗いと認識しており、県と協議し、設置を検討したい。



東側の支柱が危険

アーチ支柱撤去を
問 2区の商店街入り口にあるアーチの支柱は、人や車の交通の妨げになり危険だが、改善できないか。

改善策を検討
中内企画課長 支柱が危険だと聞いている。県や商工会と協議し改善策を検討したい。

人材育成

職員の能力向上

問 少子・高齢・過疎・人口減に取り組むには、自治体職員の能力が期待されており、地域住民に信頼される職員の能力向上をどう考えているか。

双方向の人事交流
職員副町長 来年度以降は、町長が指名して研修を受けさせる。
また、県と双方向の人事交流を行い、全体の底上げをする。

その他の質問

宿泊施設を

問 ニーズにあった宿泊施設をとの声が高まっていく。町長の考えは。

町営は考えていない
答 大半は町外に流れているが、町営施設は考えていない。



西川晃 議員



市原静子 議員

子育て支援 保育料2子目から無料に 慎重な検討が必要 教育長

山中教育長 県内では、高知市、大川村、梶原町、

問 家族が安心して子育てできるように、経済的負担を和らげるため、2子目から「保育料を」全額無料にできないか。

馬路村が実施している。本町は、国の基準に合わせ2子目は半額、3子目以降は無料としている。若い世代は所得も少なく子育ても苦労していると思うが、財政の状況も厳しく、慎重な検討が必要である。

病児保育

問 一時預かりでの病児保育はどのような対処をしているか。
また、働くお母さんのため、病児保育事業はできないか。

検討したい

山中教育長

けがや病氣、風邪で熱が出たとき保護者に電話して迎えに来てもらう。けがなどの緊急の場合、養護教員に病院へ連れて行ってもらうている。

保育園で病児保育事業をするなら看護師の採用などが必要になる。直ちに困難だが、多くの希望者があれば検討したい。

人口減対策

不妊治療の助成を 検討したい 住民課長

問 不妊治療は、高額な治療代がかかるため、子を産み育てたいと思う希望を断念せざるを得ない人もいる。助成はできないか。

西川住民課長 不妊治療には、一般不妊治療と人工授精、特定不妊治療がある。特定不妊治療には、

1回に30万円から40万円くらいかかるが、県から1回につき20万円、通算6回まで助成がある。県内では独自の助成を四万十市、津野町、土佐市、佐川町が実施しており、本町でも人口減対策の一環として検討したい。



子育てに手厚い支援を(保育園)



おち駅では第1、第3、(第5含む)の木曜日10時から朝笑(落語)が開催されている

元気なまちづくり 寄席が大変人気だ 看板を作りたい 企画課長

問 観光おち大使の淀家萬月さんの指導で、小学3年生が、おち駅交流フロアでの寄席が大変喜ばれている。
寄席の日が分かるように看板を作れないか。

中内企画課長 今後、この寄席が誰にでも分かり知ってもらうために、のぼり旗や看板を作りたい。

定住対策

今後の全体的な計画は 最重要課題として取り組む 町長

問 新年度の予算編成も近づいたが定住対策の進み具合はどうか。今後の全体的な計画は。

その外、(株)ツムラとの連携や地元企業の雇情報発信も模索中だ。

問 地方創生はアイデア勝負だ。国は26年度中に1000億円の補正予算を組むので、先にやった方が得をする。職員に指示しているのか。

小田町長 最重要課題と位置づけ、地域起し協力隊を農業団体や地元企業へ派遣。
起業者が活用する補助事業の自己負担分の支援、人材の誘致などを考えている。
住宅・教育・子育て支援・医療・福祉の支援も充実させる。

小田町長 企画課を中心に各課と連携するよう指示した。
今後職員の能力向上を図り、27年度には町総合振興計画と合わせ地方創生総合戦略も各課から集めて練る。

問 若者流出の原因の一つは賃金格差が大きいことだ。東京と比較した場合、定年までに家一軒が

建つくらいの差が付く。島根県飯南町には、「定住促進賃貸住宅」を土地付きで払い下げる制度があり、成果を上げている。
大都市との格差は正や定住促進につながるが、本町は戸建て住宅への支援をする考えはないか。

小田町長 定住には戸建ての住宅が必要だ。古い町営住宅が空いたら更地にして売りに出しているが、もう少し有効な使い方を考えている。

問 本町のインターネット環境は他の市町村より遅れており、地域間格差が生じている。整備する考えはないか。

小田町長 光ファイバーは必須だ。費用も要するので検討する時間をいただきたい。

高校生の通学支援

負担を軽減できないか 何かの支援をしたい 町長

問 仁淀川町は、若者の町外転出を防止するため、通学者に年間18万円を支給している。
人口減少対策や保護者の負担軽減のため、本町は通学支援策を実施できないか。

高橋教育次長 25年に行ったアンケートでは、路線バスは料金が高い、部活の場合帰りの便がない、鉄道への乗り継ぎが悪いなどの意見や要望があり、役場内の公共交通検討会で検討している。

小田町長 家庭の負担軽減のため、何かの支援をしたい。



西佐川駅前には送迎の車で30分フラッシュ

地域おこし協力隊

問 地域おこし協力隊は活動内容・来年度隊員数は

答 国や県などの制度に乗らない公共土木や農業施設災害工事は、採択基準を見直し中だ。

その他の質問

災害対策

問 個人での災害復旧が困難な場合、町単独の補助制度は検討したか。

採択基準を見直す

国や県などの制度に乗らない公共土木や農業施設災害工事は、採択基準を見直し中だ。



武智龍 議員



高橋 文一 議員

観光の基本姿勢 現状と今後の計画は 昨年以上の結果 町長

問 観光の拠点には宮ノ前公園だが、トイレの問題やカヌー・ラフティングの利便性を考え、施設整備をしてはどうか。現状と今後の計画は。



人気上昇中のラフティング

小田町長 コスモスまつりが一番集客力がある。カヌー・ラフティングも県外客が増えているが、自然が相手であり経済効果面では課題がある。滞在型観光を目指しており、基地の設置と宿泊機能は不可欠でトイレや更衣室・シャワー室等を含め、工科大に調査を依頼し、写真等を年度内にお願している。

行政が関係する事故等の補償

沈下橋通行止めの事故対応

年間契約書に必要事項を明記

産業建設課長

問 10月に町の管理する沈下橋で、バリケードに接触する事故が起きた。説明および補償内容と対応は。

わびし、委託業者には当事者と今後の対応を進言した。来年度は年間契約書に必要事項を明記したい。

前田産業建設課長 10月13日の台風の時、中仁淀橋の両側を鋼製パーによるバリケードの設置を建設業者に委託した。事故は14日の早朝に、今成方向から通勤していた軽自動車、衝突したもの。

町の加入している保険会社によると、安全対策は受託業者が行うものであることを、当事者と委託業者に説明をして、当事者の方には設置確認をしておいたことをお



台風などの増水時に通行止めとなる中仁淀橋

移住促進・定住対策

本気で取り組み

リーダーシップをとる 町長

お試しツアーで成果

中内企画課長 11月のお試しツアーで6人の参加者があった。その内の2人がフォレストタウンおちに申し込みしている。

お試し住宅は、沖縄県の人が一時的に入居する予定となっている。12月14日の東京での移住相談会には、14組17人の相談があった。

小田町長 先進地を見てくることは意義がある。来年度に本町の課題に合う所を見てくる。町長自らリーダーシップをとる。

問 本町の移住・定住対策は5つの柱から成るが、9月以降の経過説明を。11月に議会が視察した島根県の町は、町長が先頭に立って取り組んでおり、各課の連携や職員の見識も高い。本町も目的をもった研修に行き、他町村に負けないよう本気で取り組んでほしい。

災害時の体制

介護事業者等との連携は

連携体制を検討したい

住民課長

問 避難場所には要介護者やけが人もいる。介護事業者間や医療機関の受け入れや、連携はできているか。

医療は、保健福祉センターを救護所として、北島、山崎整形外科、前田の各病院と連携し、機能を十分に発揮できるようにしている。

西川住民課長 これまで介護事業者間の勉強会はあったが、集まる機会が少なく災害時の連携体制は取れていない。地域ケア会議で、連携体制を検討していきたい。



災害時には救護所となる保健福祉センター

フォレストタウンおち

申込者と今後

54世帯・119人、入居は4月

総務課長

問 現在の申込者数と今後の予定は。

片岡総務課長 12月12日現在、町内27世帯65人、県内が20世帯45人、県外は7世帯9人である。入居者の抽選は、1月下旬に行い、完成は今年度末で、入居は4月から予定である。

町施設のトイレ

和式を洋式に

検討したい

問 町民会館や福祉センターは、行事やイベントに多くの高齢者の方が集まるが、和式トイレを使用できない人が多い。洋式を多くできないか。

山中教育長 町民会館の女子トイレは、現在洋式が1、和式が4である。27年度に、ウォッシュレットの洋式を4、和式を1に改修したい。

西川住民課長 福祉センターは、十分であると考

その他の質問

移住

問 移住は、働く所、子育て環境や地域とのつながりが重要で、役場全課の対応が必要だが、取り組みは。

答 職員が一丸となり取り組む総合的組織が必要で、民間も交えた形を考

県道柳瀬越知線

問 県道柳瀬越知線の今後の予定は。

答 一部測量設計は終わったが、まだ物件調査、地権者との交渉ができていない場所もある。着工は未定である。

工事着工は未定



岡本 謙 議員



片岡清則 議員

町長の政治姿勢

4年間目指すものは

各種の事業に取り組む 町長

問 小田町長になり、8カ月がたった。町民から「新町長はどうか。」という声を聞くが、任期中に目指すものは。

小田町長 職員から町長になり政治に携わることになった。議会の皆さん、職員の方々に協力とご指導をいただき各種の事業に取り組みたい。

高齢者社会の対応

問 広域の特別養護老人ホームが満室で、多くの待機者がいる。広域での対応ができれば、本町には旧学校施設が多くあり、高齢者の人たちが住める施設ができる。本町独自の施設ができないか。

調査の必要がある

小田町長 老人ホームに入れない人は現実に入らないが、施設を造るとなると利用者のニーズや管理者の問題などがあり、十分調査をして進めなくてはいけない。

町の将来展望

山間集落の今後は

足の確保に努めている 町長

問 山間集落は、人口減少の一途をたどっているが対応は。

小田町長 集落によって人口が減って大変な所もある。町民バスを入れたりして足の確保に努めている。



5人になった南ノ川2区

中内企画課長 今後の集落形成などについて、地区での話し合いをもって

集落活動センターの設立やあつたかふれあいセンターの活用など、住み慣れたところで引き続き幸せに暮らしていく仕組みづくりを構築したい。

町内商店の動向は

問 商店街が非常に寂しくなっている。今後どうしたいのか。

中内企画課長 空き店舗ができています。チャレンジショップ等の新しい制度もあり今後検討したい。

道路行政

大平ニイヤ線にガードレールを

問 大平ニイヤ線の合流点は急な道で、シルバーカー利用者には危険。ガードレールを設置できないか。

前田産業建設課長 27年度に設置したい。

下ノ谷々堂林線

問 下ノ谷から堂林間の路面直しとガードレールの設置を。

早期に対応する

前田産業建設課長 現在下ノ谷側から側溝と舗装工事をしていくが、ガードレールは優先順位を決めて施工する。



仮設道は設置されたが林道の崩土はそのままの状態

林道小日浦線災害工事の早期完成を
問 南ノ川での大災害で大変なことになっている。9月議会の説明では、県工事で4年くらいになることだが、一日も早い完成ができないか。

早期に対応する

前田産業建設課長 県が行う工事は、できるだけ早く完成をさせていただくようお願いしている。

広域議会

第4回定例会が、12月1日に開かれ、平成26年度一般会計補正予算など3件、条例制定3件、条例の一部改正1件を全会一致で可決しました。一般質問には、2人が登壇しました。

条例制定

●情報公開条例

情報公開に必要な施策の策定、及びこれの実施について条例を制定するもの。
《賛成・全員》

●個人情報保護条例

個人情報保護の適正な取り扱いが確保されるよう必要な事項について条例を制定するもの。
《賛成・全員》

●情報公開・個人情報保護審査会条例
個人情報保護制度の公平かつ適正な運営を推進するために、審査会の事務等について定めるもの。
《賛成・全員》

条例の一部改正

●一般職の職員の給与に関する条例

高知県に準じて、職員の勤勉手当について改正するもの。
1・3月分
1・4月分
《賛成・全員》

諸般報告

●相談支援事業所の開所
新たに組合事務となった障害者（児）を対象とする相談支援事業所を、10月1日に越知町民会館の一室を借り受け、事務を開始した。

●消防・救急無線のデジタル化工事

1月19日からデジタル無線での運用に移行させ、同時に119番通報も新しい指令台システムにより運用を開始する。

一般質問

片岡清則 議員

特養老人ホーム

問 今後の老人ホームの入所はどうなるか。

要介護3以上が入所大石組合長 特別養護老人ホームは、27年4月からの入所者は原則要介護3以上の高齢者に限定し、

居室での生活が困難な程度で要介護高齢者を支える施設となる。



安定した生活を送る入所者（五葉荘）

問 待機者をなくする事をどう考えるか。

慎重な判断が必要

大石組合長 4施設の待機者は179人だが、在宅での待機者は3割程度と把握している。介護保険の運営が厳しい中、定数を増やすことは介護保険料基本額の上昇につながるため、各町の第6次計画は、慎重な判断が必要である。

今号の表紙



1月3日に町民会館で開催された新成人の集いには、47人の出席があった。

先進的な取り組みに目からうろこ

定住対策で先進地視察（島根県飯南町・邑南町）



邑南町では「構串を入れ」の言葉が強く胸に響いた

0〜18才までの人口を増やし定住に結びつけるための様々な政策を執行し成果を上げている。医療、保健、福祉分野の具体策として、町立病院に産婦人科と小児科があり専門医が常勤。24時

第2子から保育料無料

町内7箇所の子育てサービズを利用するとポイントが付与され、町内のお店で買い物に利用できる仕組みの「子育て支援ポイント」があり、町民一体となった取り組みになっている。

数えきれないほどの事業

生活環境面でも、住居の新築・増改築への助成、空き家改修補助、Uターン者用住宅建設、定住コーディネーターや定住促進支援員配置など数えきれないほどの事業がある。

政策提言を協議

本町の政策に反映させるべく、12月定例議会では6人が執行部に対し本町の定住対策や子育て支援など一般質問（6〜12ページ）を行った。今後全員協議会を行い、今回の研修成果のまとめと政策提言を協議する。

議会としてポイントを絞った定住政策をとりまとめ、町長以下幹部職員に伝え、地方創生総合戦略にも盛り込ませ、具体的な成果を出せるよう取り組んでいく。

「日本一の子育て村」
邑南町は、定住対策の目玉として「日本一の子育て村」と名付けた官民一体となった取り組みを展開している。

邑南町
（人口1万1557人、面積419・2平方キロメートル）

組織に「横串」

この構想は、現町長が旗振り役となって立ち上げたもので、医療、保健、福祉、定住支援、就労、教育、結婚、生活環境など各分野に「横串」を入れ、縦割り行政を改めた画期的な取り組みだ。

子育て支援ポイント

町内7箇所の子育てサービズを利用するとポイントが付与され、町内のお店で買い物に利用できる仕組みの「子育て支援ポイント」があり、町民一体となった取り組みになっている。

独自の奨学金

教育分野では、医療福祉従事者の確保や農林業後継者育成のため、将来資格を取って町に帰って職に就いたら返還しなくて良いという独自の奨学金制度を構えている。

取り組みの成果

以上のような取り組みの結果、22〜25年度までの定住人口は96世帯150人となり、24年度の合計特殊出生率は2・65と驚くような成果を出している。

感想

- 両町とも、町長が指導力を発揮している。
- 事業を進めるための体制が整っている。
- 移住後も仕事、生活、地域との協力体制などにも関わり熱意を感じた。
- 将来の財源対策を考えて事業を実施している。

意見

- ただ、空き家があるから来てくださるわけではない。
- 医療、産業、住宅など組織体制の整備の必要がある。
- 地域おこし協力隊の雇い方を改善すべきだ。

越知町をなんとかせんといかん！



飯南町では定住支援を最重要プロジェクトと位置付けている

本町は、平成32年の人口6000人を目標に取り組んでいるが、目標達成は大変難しくなってきた。このため、議会は昨年11月に定住対策では、全国でも屈指の実績を持つ島根県飯南町（いいなんちょう）と邑南町（おおなんちょう）を議員9人（欠席1人）で調査してきた。

飯南町

（人口5302人、面積242・8平方キロメートル）

定住支援を最重要

飯南町は、高齢化率41・1%だが、定住支援を「最重要プロジェクト」と位置付けて、平成9年度から独自の支援制度を実施している。

定住支援センター

役場内に定住支援センターを置き、移住希望者への情報提供や相談窓口、定住関連情報の収集と発信のほか定住後の生活支援などの業務を行っている。

助成事業が豊富

助成事業は、個人向けと事業所向けの住宅整備、空き家の改修・片付け、農林業定住研修、産業人材育成、新規創業等、幅広い分野の人が利

用できる各種の助成金制度を整えている。

住まいの支援

町営住宅のほか、飯南町に住んでみたい人や田舎暮らしをしたい人のためのお試し住宅、Uターン住まい支援住宅、定住促進賃貸住宅、農業研修者用滞在施設などきめ細かい住まいの支援がある。

目玉施策

中でも、100坪の土地に建てる定住促進賃貸住宅は、家賃4万円で25年後には払い下げる仕組みになっており、目玉施策として申込者も多く工事中を含め11軒建築され、大きな成果を上げている。

田舎暮らし

そのほか、田舎暮らしを希望する人向けの暮らし体験住宅や農業をした人には日帰りから最長1年間までのプログラムが用意されていて、月1万2000円〜3万円の助成金や農業研修者用の滞在施設を用意するなど色々な体験プログラムや施設を構えている。

取り組みの成果

このような取り組みの結果、25年度末までの政策によるUターン者は累計で414人。22年度から出生数も増加傾向にあり18〜22年度までの合計特殊出生率は2・0以上となっている。（本町は22年度が1・72）

●合計特殊出生率●
人口統計上の指標で、一人の女性が一生に産む子どもの平均数を示す。